

下水道整備計画（Ⅱ）【モロッコ】

施策所管局課 国別開発協力第三課
評価年月日 平成 29 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	モロッコ
(2) 案件名	下水道整備計画（Ⅱ）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	モロッコの中小4都市において下水道整備を行うことにより、同都市における下水道の普及を図り、もって同地域の環境、衛生状態、生活環境の改善に寄与するもの。 案件の内容 ・ 土木工事 ・ 資機材調達 ア 閣議決定日：平成 19 年 3 月 30 日 イ 供与限度額：50.54 億円 ウ 金利：0.75% エ 償還（据置）期間：40（10）年 オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、モロッコの地方の中小都市では自治体が下水道整備を担当していたが、急激な都市化及び自治体の深刻な資金不足のため整備に顕著な遅れが生じていたため下水道整備は、同国における早急に解決すべき重要課題の1つとなっていた。そのため、国営電力・水道公社（ONEE）が実施機関となり、「下水道整備中期投資計画（2003～2017）」を策定し、本事業計画の対象となるマラケシュ近郊の4都市を下水道未整備都市の中で最も優先度が高い都市の一部とした。本計画に係る状況は当初から大きく変わらず、マラケシュ地域の人口増加に伴い、引き続き急激な都市化に対応する下水道整備は必要であり、現在も本事業に関する社会的ニーズは変わらない。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 設計変更や用地取得の遅延による遅れが発生したが、現在事業対象の3つの都市の事業は順調に進められている。（なお4都市のうち1つは用地取得が遅延したことを理由に、先方政府からの要望を踏まえ、事業を中止した。）
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズに変化は見られず、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており、事業進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続していく。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料

